

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 金沢市立兼六中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒920-0924
石川県金沢市田井町12番12号

E-mail kenroku-j@kanazawa-city.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 367 名 女子 326 名 合計 693 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

① 総合的な学習の時間の取り組み

本校では、「金沢学びタイム」と称して調べ学習を行うことで、生き方を学ぶとともに、地域、歴史および文化を知り、郷土金沢への愛着と誇りを持てる取り組みをしている。この取り組みを通して、課題の見つけ方や解決する方法を学び、課題を追求解決していく力を身に着けた持続可能な社会の担い手の育成をめざしている。

【第1学年】 「歴史都市 金沢を知る」

1年生では、歴史都市金沢を継承する歴史・伝統文化などについて、一人ひとりがテーマを設定し、図書資料やインターネットなどで調べたことを新聞にまとめ発表した。この活動を通して、情報収集の仕方、まとめ方を学ぶことができた。

【第2学年】 「創造都市 金沢を創る」

2年生では、金沢散策を行った。事前学習で、金沢の伝統工芸または文化的景観についての良さをみつけ、それらを継承していこうとする気持ちを持つことをねらいとして、それに関連する場所を含む散策・見学コースを作った。当日は、計画に従ってのグループ活動を行った。事後の振り返りとしてミニ旅行記を作成した。自分たちの住む金沢の良さを再発見する良い機会となった。

【第3学年】 「世界都市 金沢を伝える」

3年生では、金沢出身の偉人、金沢の歴史・自然・文化等について、各自がテーマを設定して調べ学習をおこない、発表会をおこなった。改めて金沢の文化についてふれ、見識を広めることができた。

② 食と「歯と口の健康」の取り組み

数年来、『噛むことと歯の健康について考えよう』をテーマに取り組みを続けている。

【食を楽しむための歯科保健指導】

保健委員会を中心に以下の活動に取り組み、全校生徒が『噛むことと歯の健康』に対して関心を持つようになってきている。

ア 小中一貫親子料理教室（カムカム キッキング）

本校生徒が小学生に「ヒミコノハガイーゼ（卑弥呼の歯がいーぜ）」と咀嚼の必要性を呼びかけた。

イ カミング 30 ほねほね検査（歯を支える骨の強さを骨密度測定で計測）を実施。骨の健康についても校内放送した。

ウ 学校歯科医へのインタビュー及び校内放送

エ 「歯と口の健康」をテーマにした標語募集と掲示

オ 虫歯治療状況のグラフ掲示（部活同別とクラス別）→治療の呼びかけ

カ 給食時間における「準備時間と咀嚼数の関係、食べる時間の満足度」調査と「カミング 30」（食事を30回かんで食べよう）の実施。

【「手作りお弁当の日」の計画・実践】

2、3年生の生徒全員が各自栄養や味のバランスを工夫した弁当の献立をたて、カムカムメニューコンテストを開催し、実際に作る機会を設定した。2年生は事前学習として、家庭科の授業で加賀野菜など地域の食材を取り入れた弁当作り「いしかわ元気弁当」の調理実習を行った。班ごとにクラスで発表。校内掲示をした。「お弁当の日」当日（校内写生会の日）は、各自がお弁当を自分で手作りした。完成した弁当の写真を撮影。事後の取り組みとして、家庭科の授業で弁当の写真に工夫したことを記入し、メッセージを交換しながらグループで相互評価をした。食の大切さを実感できる活動となった。

③ 環境への取り組み

生徒会では以下の活動を通して、環境問題に関心を持つよう取り組んだ。

ア リサイクル活動

生徒一人ひとりが限りある資源を大切にしようとする心を育成するために、年間5回のリサイクル週間を設定している。各家庭で集めた新聞紙や広告、牛乳パックを生徒が持ってく

る方法で行うこの活動は、16年以上続いており、保護者の理解、協力を得ている。

イ クリーン活動

6年前の浅野川氾濫を機に、浅野川の河川敷の清掃活動を通して地域に貢献しようということから、クリーン活動を行っている。この河川敷は人々の通勤・通学や散歩コースであり、地域にとっては身近な場所の一つである。生徒一人ひとりが自宅から自分の清掃区域まで移動しながらゴミ拾いを行い、その後、部活動単位で割り振った清掃区域の清掃を行う。回収したゴミは種類ごとに分類を行う。

ウ えひめA I

えひめA Iとは、納豆菌・乳酸菌・酵母菌の手作りパワー菌液である。市販品もあるが、簡単に手作りする事ができる。すべて食品からできているので環境に優しい洗剤である。昨年度に続き、保健委員会と環境委員会がえひめA Iを作成した。校内の流し台とトイレに配置し、排水溝の汚れ落としやトイレの消臭を目的として清掃時に使用した。

<成果と課題>

① ユネスコスクールのテーマとカリキュラム作成上の工夫について

これまで本校で行っている教育活動の中で、E S Dの理念に合致しているものをもとにして実践を進めようと考え取り組んできた。総合的な学習の時間における伝統文化を理解し受け継ごうとする学習、食と健康に関する取り組み、生徒会活動での環境の取り組み等、個々の活動は、これまでの積み重ねもあり、それなりに成果を上げている。しかし、E S Dの理念を意識した活動という点では、教師、生徒ともにまだまだ認識がうすいのが現状である。今後は、E S Dを通じて育てたい資質や能力と活動との関連を意識して、その都度、生徒にも伝えながら取り組む必要がある。

② 情報の発信、ネットワークづくりについて

学校ホームページを利用して、情報の発信を行うことができた。今後は、その頻度を増やしていきたい。また、校区の小学校との情報交流や中学校同士の交流も視野に入れていく必要がある。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（